

ASC 認証について

世界人口は今も増加し続けており、高タンパクな食料資源を求める動きはますます活発になりその結果、養殖への依存が今後高まることが予想されます。

ASC (Aquaculture Stewardship Council) は養殖が持続可能で、社会的責任を負い、環境的にも適正に管理されることを目的とした責任ある養殖水産物認証制度です。私達はASC基準を活用し、持続可能性・環境的・社会的な問題に配慮した責任ある養殖に取り組んでいます。

● 養殖魚用飼料について

国内外の法令に従い、トレーサビリティならびに持続可能性を考慮した原料を使用していますが、植物原料の一部に遺伝子組み換え不分別の原料が含まれています。

● 養殖魚の逃亡および個体数の計測に関して

養殖魚の逃亡は近隣海域の生態系に影響を及ぼす事が考えられます。

そのため、私達は養殖魚の逃亡対策マニュアルを作成し従業員への教育を行っていますが、今後様々な要因によって予期しない逃亡が発生することも考えられます。したがって、逃亡発生の際は生簀内の残存尾数計測と逃亡尾数の確認を行い、脱走内容を記録し、対策を立案・実行することによって再発防止に努めています。

また、養殖個体数は、金網サイズの変更時に生簀への投入数をカウンターにて計測することで尾数の確認を行っています。出荷までの間の生簀内尾数は、養殖日誌・養殖月誌に斃死尾数を日々記録することで管理を行っています。



【養殖魚の逃亡履歴】

F28M(H28年種苗) 0件

F29M(H29年種苗) 0件

F30M(H30年種苗) 0件

【斃死】

F28M(H28年種苗) 1件 3308尾

※2017/8/5～8/6 に通過した台風 5 号の影響により F28M において斃死が発生しました。

発生原因として、7 月下旬から溶存酸素量 5.0mg/l 未満(低酸素状態)が中層から下層にかけてみられ、台風 5 号による強い東風の影響で表層の水塊が沖に流された事により低酸素帯が上にあがってきたことで酸欠状態に陥った事が原因と考えられます。

日々の溶存酸素量測定を徹底し、漁業協同組合および水産技術センター等から発信される海況情報に注意することで餌止めや生簀移動などをはやめに行い、再発防止に努めています。

● 養殖場と野生生物との相互関係

福山漁場を含む海域の自然環境・生態系は様々な野生生物によって成り立っています。生物多様性の維持に努めることは今後の養殖事業継続に深く関係しており、私達は野生生物への配慮として、絶滅危惧種・非絶滅危惧種に関わらずこれらの殺駆除を行わない事と、海産哺乳類への影響を考慮し、音響忌避装置の使用は行わないことを約束します。偶発的な野生生物死亡が発生した場合は、フローに沿った調査を行い取られた対策を手順化することで再発を防止します。

野生生物の死亡事例				
福山漁場	生物分類	期間	死亡数	種名
	鳥類	2014年7月～2018年9月	0	
	サメ類	2014年7月～2018年9月	0	
	海産哺乳類	2014年7月～2018年9月	0	

● 寄生虫状況

福山漁場では、寄生虫の寄生状況を調査しています。今回の調査では、魚体への寄生はみられませんでした。

寄生状況	調査日 2018/9/20		
福山漁場	寄生虫名	養殖魚	天然魚
	ハダムシ	0	0
	エラムシ	0	0
	線虫	0	0
	その他	0	0